

# 春野菜の生産（生育）・出荷状況について

（全国農業協同組合連合会）

# 1. 平成25年産春キャベツ(4月～6月)の出荷見通し

## (1) 作付面積、生育状況の概要

平成25年3月現在

	当初計画(24年9月作成)				3月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量		出荷量					播種時期	定植時期
	計画	前年	計画	前年	計画	前年					
	(ha)	実績比	(トン)	実績比	(トン)	実績比					
全農千葉 県本部	1,060	100%	37,950	105%	37,500	103%	・春系: 10/中～12/上	・春系: 11/下～3/上	・春系: 3/下～6/上	・出荷開始時期: 4/上(平年並み)。 ・出荷最盛期: 5/中～6/中(平年並み)。	作付面積は横ばいで、作柄 良好のため、前年・直近3カ年 をやや上回る出荷を見込んで いる。
全農神奈川 県本部	734	99%	37,595	109%	35,250	103%	・春系: 10/中～	・春系: 11/中～2/下	・春系: 3/下～6/下	・出荷開始時期: 3/下(平年並み) ・出荷最盛期: 4/下～5/上(平年並み)	前年・直近3カ年をやや上回る 見込み。
愛知県経済 連	600	100%	28,590	96%	26,800	102%	・冬系: 8/下 ・春系: 9/下～10/末 ・初夏: 10/下～1/上	・冬系: 9/下 ・春系: 10/下～12/上 ・初夏: 11/下～2/下	・冬系: 3月～4月 ・春系: 3/下～4/下 ・初夏: 5/上～6/下	出荷開始時期、出荷最盛期 は、平年並みの見込み。	・冬系・春系:冬系の残量があ り、4月は例年並み以上の出 荷見込む。 ・初夏:作付微増で、平年以 上の出荷量見込む。(昨年は 1～2月の冷え込みにより、5 月分の6月への後ズレが大き かった)
その他	1,673	100%	36,946	114%							
対象県 共販計	4,067	100%	141,081	106%							

### コメント

作付面積 (3月調査)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全農千葉 :前年比100%</li> <li>・全農神奈川:前年比99%</li> <li>・愛知経済連:前年比101%。「初夏どり」は、冬キャベツからの連作・他品目からの移行により微増。</li> </ul>
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全農千葉 :1月以降は低温等の影響からやや遅れていたが、3月が気温高のため回復傾向となり、作柄良好。</li> <li>・全農神奈川:冬期の低温により生育にバラツキが見られる。今後の天候によるが、一部1～2週間程度遅れる産地もある見込み。</li> <li>・愛知経済連:「冬・春系」は、1-2月には適度に降雨があり、日照もあることから品質は安定する見込み。大玉傾向。 「初夏どり」は、冷え込みもあるが、降雨・日照もあり大きな影響は見られない。現時点では生育順調。</li> </ul>

## (2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	4月	5月	6月	計
全農千葉県本部	25年見通し <sup>注1</sup>	4,500	15,500	17,500	37,500
	前年比	133%	97%	104%	103%
	3ヶ年平均 <sup>注2</sup> 比	114%	101%	107%	105%
全農神奈川県本部	25年見通し <sup>注1</sup>	16,466	16,337	2,447	35,250
	前年比	126%	90%	74%	103%
	3ヶ年平均 <sup>注2</sup> 比	118%	93%	78%	102%
愛知経済連	25年見通し <sup>注1</sup>	16,800	6,200	3,800	26,800
	前年比	106%	109%	79%	102%
	3ヶ年平均 <sup>注2</sup> 比	108%	107%	99%	106%
計 (上記3団体)	25年見通し <sup>注1</sup>	37,766	38,037	23,747	99,550
	前年比	117%	96%	95%	103%
	3年ヶ平均 <sup>注2</sup> 比	113%	98%	101%	104%

注1:3月現在の供給計画「対象県共販計」、「対象市場計」の見込み数量。(確定計画は3月末とりまとめ)

注2:平成22年～24年の実績より算出。

## コメント(上記3団体)

昨年の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月:冬期から春先の低温により、生育遅れの影響で、少なめの出荷量となった。</li> <li>・5～6月:遅れ分が重なり、出荷量が増加した。</li> </ul>
出荷見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月:愛知、神奈川県産のシェアが高くなる時期。3月の気温上昇により、生育が促進されており、前年・直近3年平均を上回る見込み。</li> <li>・5～6月:千葉、神奈川県産のシェアが高くなる時期。4月までの遅れ分が重なり、出荷量が増加した前年を下回り、直近3年平均並みとなる見込み。</li> </ul>

## 2. 平成25年産春だいこん(4月～6月)の作付面積・生育状況の概要

### (1) 作付面積、生育状況の概要

平成25年3月現在

	当初計画(24年9月作成)				3月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量		出荷量					播種時期	定植時期
	計画	前年	計画	前年	計画	前年					
	(ha)	実績比	(トン)	実績比	(トン)	実績比					
全農千葉 県本部	730	102%	31,000	106%	30,000	102%	・春系: 11/上～12/上	—	・春系: 3月～5月	・出荷開始時期: 4/上(平年並み)。 ・出荷最盛期: 4/下～5/下(平年並み)。	前年・直近3ヶ年平均並みの 出荷を見込む。
全農長崎 県本部	136	100%	11,050	98%	10,139	90%	11/上～3/中	—	3/上～5/下	平年並みの出荷を見込む。 ・出荷開始時期:3/上から。 ・出荷最盛期:3/下～4/中。	・全体の作付面積は前年並 みとなり、出荷量は年 比90%、直近3ヶ年平均比 89%を見込む。 ・月ごとには、3月出荷作型が 前年よりも増加している。
その他	533	100%	24,298	114%							
対象県 共販計	1,399	101%	66,348	107%							

### コメント

作付面積 (3月調査)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全農千葉:前年比101%(一部地区において、前年比で微増となる)。</li> <li>・全農長崎:全体の作付面積は前年並み。</li> </ul>
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全農千葉:1月以降は低温等の影響からやや遅れていたが、3月が気温高のため回復傾向となり、作柄良好。</li> <li>・全農長崎:播種は例年並みに開始したが、年内の降雨により播種作業に影響がでた。生育についても天候の影響から生育遅れの圃場も散見される。</li> </ul>

## (2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	4月	5月	6月	計
全農千葉県本部	24年見通し <sup>注1</sup>	14,500	12,000	3,500	30,000
	前年比	105%	98%	105%	102%
	3ヶ年平均 <sup>注2</sup> 比	98%	101%	115%	101%
全農長崎県本部	24年見通し <sup>注1</sup>	5,037	4,602	500	10,139
	前年比	96%	98%	38%	90%
	3ヶ年平均 <sup>注2</sup> 比	96%	96%	37%	89%
計 (上記2団体)	24年見通し <sup>注1</sup>	19,537	16,602	4,000	40,139
	前年比	103%	98%	86%	99%
	3ヶ年平均 <sup>注2</sup> 比	97%	100%	91%	98%

注1:3月現在の供給計画「対象県共販計」、「対象市場計」の見込み数量。(確定計画は3月末とりまとめ)

注2:平成22年～24年の実績より算出。

## コメント(上記3団体)

昨年の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月:冬期から春先の低温により、生育遅れの影響で、直近3ヶ年で最も少ない出荷量となった。</li> <li>・5月:遅れ分が重なり、直近3ヶ年で最も多い出荷量となった。</li> </ul>
出荷見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4～5月:主産2県の出荷量は、概ね直近3ヶ年平均並みを見込む。</li> <li>・6月:青森産のシェアが高くなる。3月上旬時点、前年同様残雪が多く播種作業が停滞、平年より1旬程度遅い6/中以降に本格出荷となる見込み。現時点では、ほぼ前年並みの作付けを見込んでいる。</li> </ul>

### 3. 平成25年産たまねぎ(4月～10月)の作付面積・生育状況の概要

#### (1) 作付面積、生育状況の概要

平成25年3月現在

	当初計画(24年9月作成)		3月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し			
	面積		出荷量		出荷量		播種時期	定植時期	出荷時期	出荷開始時期と出荷最盛期	期間全体を通した出荷見通し
	計画 (ha)	前年 実績比	計画 (トン)	前年 実績比	計画 (トン)	前年 実績比					
ホクレン	4,223	100%	205,250	100%	156,500	102%	・極早生: 2月 ・早生: 2月 ・中生・晩生: 2月	・極早生: 4/上～5/中 ・早生: 4/中～5/中 ・中生・晩生: 4/上～5/中	・極早生: 8月 ・早生: 8/下～11月 ・中生・晩生: 11～4月	現在、作業初期のため見通し 立たず。平年作を見込むと、 10月がピークとなる。	4～7月は出荷残量を考慮す ると、前年・直近3ヶ年平均を 下回る見込み。 8～9月は24年産並みを見込 む。
JAさが	2,165	102%	79,401	118%	83,150	124%	・極早生: 9/中 ・早生(マルチ・露 地): 9/中～9/下 ・中晩生: 9/下	・極早生: 11/上 ・早生(マルチ・露 地): 11/中～11/下 ・中晩生: 11/下～12月	・極早生: 3/上～4/上 ・早生(マルチ・露 地): 4/中～5/下 ・中晩生: 6/上～	・出荷開始時期:3/上。 ・出荷最盛期:平年並みに4月 ～5月となる見込み。	現在、生育順調のため、前年 及び過去3ヶ年を上回る出荷 を見込む。(特に過去3ヶ年は 早生種、昨年は中晩生の収 量が落ち込んでいる)
全農兵庫 県本部	1,662	100%	46,965	109%	41,980	98%	・極早生: 8/下～9/上 ・早生: 9/下 ・中生: 9/下 ・晩生: 9/下	・極早生: 10/中～10/下 ・早生: 11/上～11/下 ・中生: 11/中～12/下 ・晩生: 11/中～12/下	・極早生: 3/下～4/上 ・早生: 5/上～5/上 ・中生: 6/上～7/下 ・晩生: 8/上～3/上	・出荷開始時期:極早生が3/ 下から出荷される。 ・出荷最盛期:7月～8月。	作付面積微減及び、早生品 種の定植時の降雨により、総 出荷量は、前年をやや下回る 見込み。
その他	1,983	101%	79,567	122%							
対象県 共販計	10,033	101%	411,183	108%							

#### コメント

作付面積 (3月調査)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホクレン :前年比101%(前年は雹害による約140haの廃耕分を差し引いている。作付段階の面積としては横ばい)</li> <li>・JAさが :前年比100%。(極早生、早生は増加、中晩生は減少)</li> <li>・全農兵庫:前年比99%(高齢化により減少傾向)</li> </ul>
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホクレン :2月より播種作業開始。3月上旬の暴風雪で、一部ハウス損傷があったものの、影響はほとんど無い模様。</li> <li>・JAさが :定植時期の降雨、低温によりやや遅れての生育となっていたが、現在は生育順調となっている。</li> <li>・全農兵庫:極早生は、順調に定植ができているが、早生は雨の影響で定植遅れており、廃棄する苗も出てきている。 中生・晩生は定植が遅れていたが、天候の回復とともに、順調となってきている。</li> </ul>

## (2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計
ホクレン	24年見通し <sup>注1</sup>	25,000	3,000	500	0	20,000	50,000	58,000	156,500
	前年比	98%	72%	60%	#DIV/0!	103%	100%	107%	102%
	3ヶ年平均 <sup>注2</sup> 比	95%	85%	88%	0%	111%	110%	105%	105%
JAさが	24年見通し <sup>注1</sup>	20,000	26,000	13,500	14,000	8,000	1,500	150	83,150
	前年比	226%	106%	129%	121%	80%	88%	158%	124%
	3ヶ年平均 <sup>注2</sup> 比	181%	113%	95%	120%	84%	145%	238%	118%
JA全農兵庫	24年見通し <sup>注1</sup>	180	7,000	6,800	11,000	12,500	3,500	1,000	41,980
	前年比	89%	94%	97%	101%	98%	94%	94%	98%
	3ヶ年平均 <sup>注2</sup> 比	83%	102%	103%	98%	101%	90%	99%	100%
計 (上記3団体)	24年見通し <sup>注1</sup>	45,180	36,000	20,800	25,000	40,500	55,000	59,150	281,630
	前年比	131%	100%	114%	111%	96%	99%	107%	107%
	3ヶ年平均 <sup>注2</sup> 比	121%	108%	97%	109%	101%	109%	105%	108%

注1: 3月現在の供給計画「対象県共販計」、「対象市場計」の見込み数量。(確定計画は3月末とりまとめ)

注2: 平成22年～24年の実績より算出。

## コメント(上記3団体)

昨年の特徴	・4～10月の出荷量合計では、直近3ヶ年平均並みとなった。
出荷見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月 : 北海道および佐賀産のシェア高い時期。特に佐賀産の増加率高く、前年、直近3ヶ年平均を大幅に上回る見込み。</li> <li>・5～7月 : JAさが、全農兵庫のシェアが高い時期。概ね直近3ヶ年平均並み～やや増を見込む。</li> <li>・8～10月 : ホクレンのシェアが高い時期。現時点では、主産3団体計で3ヶ年平均を上回る出荷量を見込む。</li> </ul>

#### 4. 平成25年産春夏にんじん(4月～7月)の作付面積・生育状況の概要

##### (1) 作付面積、生育状況の概要

平成25年3月現在

	当初計画(24年9月作成)				3月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量		出荷量					出荷開始時期と出荷最盛期	期間全体を通した出荷見通し
	計画 (ha)	前年 実績比	計画 (トン)	前年 実績比	計画 (トン)	前年 実績比	播種時期	定植時期	出荷時期		
全農徳島 県本部	965	98%	38,430	100%	39,835	115%	・トンネル: 10/中～1/中	—	・トンネル: 3/上～6/下	時期については、以下の通り 平年並の見込み。 ・出荷開始時期:3/上。 ・出荷最盛期:4/中～下。	全体の作付面積は微減となっ ているが、順調な出荷を見込 んでおり、出荷量は前年比 115%、直近3ヶ年平均比 108%を見込む。 (計画数量39,835t)
全農千葉 県本部	500	100%	15,150	100%	13,350	102%	・春夏: 12/下～2/下	—	・春夏: 4/下～7/上	・出荷開始時期: 4/下(平年並み)。 ・出荷最盛期: 5/下～6/下(3月以降の天 候次第だが遅れ気味)。	期間を通した出荷量見込み は、概ね前年・直近3ヶ年平均 並みを見込む。
その他	944	101%	32,019	100%							
対象県 共販計	2,409	100%	85,599	100%							

##### コメント

作付面積 (3月調査)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全農徳島:前年比99%(高齢化により生産者は減少傾向にあるが、一方で規模拡大を図る生産者もみられる。)</li> <li>・全農千葉:前年比100%。(千葉・東葛地区は高齢化や都市化の影響で微減も、印旛地区で西瓜等の転換があるため全体的には横ばいの見込み)</li> </ul>
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全農徳島:冬期の低温により1週間程度生育遅れているが、2月以降の気温上昇し、日照時間も長くなってきていることから生育順調となる見込み。</li> <li>・全農千葉:年内播種分は順調。年明け以降播種分は天候不順の影響から作業遅れ。1月・2月の低温から全体的に生育も遅れ気味。作柄は平年並み。</li> </ul>

## (2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	4月	5月	6月	7月	計
全農徳島県本部	24年見通し <sup>注1</sup>	22,040	16,190	1,605	0	39,835
	前年比	144%	87%	207%	0%	115%
	3ヶ年平均 <sup>注2</sup> 比	123%	92%	117%	0%	108%
全農千葉県本部	24年見通し <sup>注1</sup>	550	2,600	8,000	2,200	13,350
	前年比	105%	103%	107%	86%	102%
	3ヶ年平均 <sup>注2</sup> 比	107%	98%	103%	99%	102%
計 (上記2団体)	24年見通し <sup>注1</sup>	22,590	18,790	9,605	2,200	53,185
	前年比	143%	89%	116%	86%	111%
	3ヶ年平均 <sup>注2</sup> 比	123%	93%	105%	98%	107%

注1: 3月現在の供給計画「対象県共販計」、「対象市場計」の見込み数量。(確定計画は3月末とりまとめ)

注2: 平成22年～24年の実績より算出。

## コメント(上記3団体)

昨年の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月: 直近3ヶ年で最も少ない出荷量となった。</li> <li>・5月: 直近3ヶ年で最も多い出荷量となった。</li> <li>・6月: 直近3ヶ年で最も少ない出荷量となった。</li> <li>・7月: 直近3ヶ年で最も多い出荷量となった。</li> </ul>
出荷見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4～5月: 徳島のシェア高い時期。直近3ヶ年平均を上回るが、5月は下回る見込み。</li> <li>・6月 : 千葉のシェア高い時期。直近3ヶ年平均を上回る見込み。</li> <li>・7月 : 青森産のシェアが高くなる。3月上旬時点、前年同様残雪が多く播種作業が停滞、平年より1旬程度遅い7/上以降に本格出荷となる見込み。 現時点では、ほぼ前年並みの作付けを見込んでいる。</li> </ul>

## 5. 平成25年産春はくさい(4月～6月)の作付面積・生育状況の概要

### (1) 作付面積、生育状況の概要

平成25年3月現在

	当初計画(24年9月作成)				3月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量		出荷量					出荷開始時期と出荷最盛期	期間全体を通した出荷見通し
	計画	前年	計画	前年	計画	前年					
	(ha)	実績比	(トン)	実績比	(トン)	実績比	播種時期	定植時期	出荷時期		
全農茨城	175	100%	15,000	103%	15,000	103%	・極早生、早生: 11/中～1/中 ・中生: 1/上～2/下 ・晩生: 2/上～3/中	・極早生、早生: 12/下～2/下 ・中生: 2/上～3/下 ・晩生: 3/上～4/中	・極早生、早生: 3/上～4/中 ・中生: 4/中～5/下 ・晩生: 5/下～6/中	・出荷開始時期:3/上(平年並)。 ・出荷最盛期:5/上～中となる見込み。	前年を上回り(103%)、直近3ヶ年平均並みの出荷を見込む。
全農長野	302	99%	15,640	99%	15,940	104%	2/中～4/中	3/下～5/上	5/下～6/下	・出荷開始時期:5/下から ・出荷最盛期:6月から	7月出荷分の適正生産をはかるため、作付を6月出荷へ前倒しするため、前年比104%、直近3ヶ年平均比107%と増加を見込む。
その他	166	100%	4,547	107%							
対象県共販計	643	99%	35,187	102%							

### コメント

作付面積 (3月調査)	・全農茨城:前年比100%。 ・全農長野:前年比105%。7月出荷分の適正生産をはかるため、高冷地は6月出荷へ前倒し傾向。一方、準高冷地は微減傾向。
生育状況	・全農茨城:早い作型の場合は、生育期の低温・干ばつの影響により、生育遅れが見られる。晩生は現在定植中。 ・全農長野:例年どおり播種され、苗の生育も順調。定植は3月下旬からの予定。

## (2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	4月	5月	6月	計
全農茨城県本部	24年見通し <sup>注1</sup>	5,000	7,500	2,500	15,000
	前年比	98%	103%	112%	103%
	3ヶ年平均 <sup>注2</sup> 比	91%	104%	109%	100%
全農長野県本部	24年見通し <sup>注1</sup>	0	940	15,000	15,940
	前年比	0%	99%	104%	104%
	3ヶ年平均 <sup>注2</sup> 比	0%	134%	107%	109%
計 (上記2団体)	24年見通し <sup>注1</sup>	5,000	8,440	17,500	30,940
	前年比	98%	102%	105%	103%
	3ヶ年平均 <sup>注2</sup> 比	91%	106%	108%	104%

注1:3月現在の供給計画「対象県共販計」、「対象市場計」の見込み数量。(確定計画は3月末とりまとめ)

注2:平成22年～24年の実績より算出。

## コメント(上記3団体)

昨年の特徴	・6月:直近3ヶ年で最も多い出荷量となった。
出荷見通し	・4～5月:茨城のシェア高い時期。4月は、生育期の低温・干ばつの影響により、生育遅れが見られるため、前年及び直近3ヶ年平均を下回る見込み。 ・6月 :長野のシェアが高い時期。今後の天候によるが、平年並みの気温経過になると想定して、前年、直近3ヶ年平均とも上回る見込み。

## 6. 平成25年産春レタス(4月～5月)の作付面積・生育状況の概要

### (1) 作付面積、生育状況の概要

平成25年3月現在

	当初計画(24年9月作成)				3月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量		出荷量					播種時期	定植時期
	計画	前年	計画	前年	計画	前年					
	(ha)	実績比	(トン)	実績比	(トン)	実績比					
全農茨城県本部	640	100%	15,250	140%	12,700	116%	・3月どり: 10/下～11/上 ・4月どり: 11/中～12/下 ・5月どり: 1/上～2/中	・3月どり: 11/下～12/下 ・4月どり: 1/上～2/上 ・5月どり: 2/中～3/下	・3月どり: 3/上～3/下 ・4月どり: 4/上～4/下 ・5月どり: 5/上～5/下	・出荷開始時期: 平年並みに2/上からとなった。 ・出荷最盛期: ほぼ平年並に4/上～中となる。	定植時期に低温で推移したものの、その後適度な降雨があったことや、気温も高くなってきたことで平年並みの出荷を見込む。
全農長野県本部	573	102%	11,249	106%	10,200	101%	1/中～3/下	2/下～4/中	4/中～5/下	・今後の天候次第であるが、4月最終週頃から出荷開始。 ・5月連休明けから増加傾向に入り、出荷最盛期は5月20日前後の見通し。	6月から5月への出荷時期の誘導をはかるため、出荷量は前年比101%、直近3ヶ年平均比107%を見込む。
全農兵庫県本部	464	105%	10,132	111%	8,700	96%	・トンネル: 12/中～1/中 ・露地: 1/中～2/中	・トンネル: 1/中～3/上 ・露地: 3/上～4/上	・トンネル: 4/上～5/上 ・露地: 5/上～5/下	・出荷開始時期: 平年並みに4/上からの見込み。 ・出荷最盛期: 平年並に4月となる見込み。	全体の作付面積は微減となっており、出荷量は前年、直近3ヶ年平均ともやや下回る見込み。
その他	595	101%	9,531	103%							
対象県共販計	2,272	102%	46,162	116%							

### コメント

作付面積 (3月調査)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全農茨城: 結球レタスは産地により増減あり、非結球レタスでは微増。全体では前年比102%。</li> <li>・全農長野: 前年比108%</li> <li>・全農兵庫: 前年比98%(高齢化により減少傾向)</li> </ul>
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全農茨城: 年内～年明けの低温及び1月14日の降雪により、1週間程度定植作業が停滞した。現時点、依然として生育遅れが散見される。</li> <li>・全農長野: 本年は雪が多く、低温傾向だったため、3月から定植作業が始まった。生育については4月の天候がポイントとなる。</li> <li>・全農兵庫: トンネルは低温の影響から生育が遅れている。露地は定植前。</li> </ul>

## (2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	4月	5月	計
全農茨城県本部	24年見通し <sup>注1</sup>	8,200	4,500	12,700
	前年比	109%	132%	116%
	3ヶ年平均 <sup>注2</sup> 比	100%	103%	101%
全農長野県本部	24年見通し <sup>注1</sup>	200	10,000	10,200
	前年比	143%	100%	101%
	3ヶ年平均 <sup>注2</sup> 比	104%	107%	107%
全農兵庫県本部	24年見通し <sup>注1</sup>	5,100	3,600	8,700
	前年比	95%	97%	96%
	3ヶ年平均 <sup>注2</sup> 比	95%	100%	97%
計 (上記3団体)	24年見通し <sup>注1</sup>	13,500	18,100	31,600
	前年比	104%	106%	105%
	3ヶ年平均 <sup>注2</sup> 比	98%	104%	101%

注1:3月現在の供給計画「対象県共販計」、「対象市場計」の見込み数量。(確定計画は3月末とりまとめ)

注2:平成22年～24年の実績より算出。

## コメント(上記3団体)

昨年の特徴	4月、5月:主産3団体計では、直近3ヶ年で最も少ない出荷量となった。
出荷見通し	・4月:茨城のシェアが高い時期。前年は上回るものの直近3ヶ年平均は下回る出荷量を見込んでいる。 ・5月:長野のシェアが高い時期。今後の天候によるが、平年並みの気温経過になると想定して、前年、直近3ヶ年平均とも上回る見込み。